

樓 神 第五十二号 目 次

林是幹教授近影

序

序

学徳と法勲を讀める

本妙日臨上人の阿毘縁山行について

身延山晩年における日蓮聖人

——弘安三年三月から八月まで——

宿屋入道と宿屋光則

日蓮遺文に見える北条氏一門

日蓮聖人の教学形成と法然教学との関連

靈山往詣と即身成仏——覚え書き

日蓮聖人の時間論

——「今本時」の意味について——

世親「妙法蓮華経優波提舍」における信

「三車火宅」の一門について

——法華経の成立地をさぐる、その一——

『身延鑑』管見

身延山久遠寺の本末について

学長 望月

理事長 竹下

学頭 里見

上田

宮崎

川添

浅井

渡辺

町田

海月

高橋

望月

高橋

高橋

高橋

高橋

林是

日

日

泰

是

本

英

昭

円

宝

是

海

海

海

海

海

海

是

滋

康

稔

幹

昌

修

二

道

陽

正

淑

昭

昭

昭

昭

豊

晋

(9)

(16)

(34)

(46)

(57)

(66)

(77)

(96)

(116)

(131)

(145)

宗祖と得一	中	條	秀	157
天台智嶺の仏性説	若	杉	見	183
本阿弥光悦・光由の周辺	池	原	鍊	207
G・M・ホプキンスの詩	桐	谷	四	220
葉隠について	島	田	駒	229
生きがいについて	奥	野	本	242
現代社会における仏教の役割	中	里	悠	249
過去帳と地域医療	中	澤	忠	262
身延山と本陽寺と林是幹師	小	根	沢	280
祝・古稀林是幹先生	町	田	是	285
曼荼羅 (mandala) 理解の一助に	里	見	泰	288
—— 備忘ノート ——				
言語小論 ③	大	森	孝	311
第三十二回日蓮宗教学研究発表大会紀要				326
〈史料紹介〉身延山歴代略譜				358
林是幹先生略年譜・執筆(編著)目録				372
学園彙報・学園だより				376

後記